

第1回 埋立地等における薬液注入工法による地盤改良工事に関する検討委員会

議事概要

日時：平成29年1月24日（火）15：00～17：00

場所：国土交通省 2号館 低層棟 共用会議室6

出席者：善委員長、春日井委員、澤田委員、末政委員、林委員

事務局より資料を説明するとともに、委員より各議題について意見交換を行った。

議題1）地盤改良前の改良対象地盤の強度等の評価方法の現状と課題

- ・地盤の不均一性を適切に把握するためには、深度方向と平面的な広がり の両面から評価できるように地盤調査を実施するのがよいのではないかと。
- ・本施工に先立ち、施工性や出来形を確認するための試験施工を実施することが効果的であるので、必要に応じて行ってはどうか。
- ・第三者が適切性を確認できるよう、施工条件や対象土、周辺環境に合致したゲルタイムの確認方法を示すことがよいのではないかと。

議題2）施工中の施工管理方法の現状と課題

- ・現場での作業負担を考慮し、施工中の管理項目は、品質確保の観点で重要なものに絞るべきではないかと。
- ・施工中の管理項目を整理した上で実用的な確認頻度を検討してはどうか。
- ・施工不良の対応に関しては、意図的に行われた不正への対応と技術的に未熟なものへの対応とを切り離した上で検討すべきではないかと。
- ・設計時の想定と異なる事案が発生した際は、受注者および発注者が相互に協議することとすれば柔軟に対応ができるのではないかと。

議題3）地盤改良後の施工確認方法の現状と課題

- ・議題1）と関連し、地盤改良後に行うボーリング調査や改良後の地盤を評価するための手段として、新技術を用いた原位置試験法が活用できるのではないかと。
- ・一軸圧縮強度による評価について見直しすることも検討してはどうか。室内試験に留まらず、改良効果が確認できる原位置試験の導入についても検討することが良いのではないかと。
- ・非破壊で地盤内を可視化し、改良後の地盤を確認する技術は、現状では非常に難しい技術であるが、品質確認のために必要な技術として中長期的に研究開発を進める必要があるのではないかと。